

会 議 録

| | | | | | | |
|--------------------|-----|--|----|------|------|----|
| 会議名 (審議会等名) | | 平成29年度第2回相模原市立図書館協議会 | | | | |
| 事務局 (担当課) | | 相模原市立図書館 電話：042-754-3604(直通) | | | | |
| 開催日時 | | 平成30年2月7日(水)午後6時～午後8時 | | | | |
| 開催場所 | | 相模原市立図書館 2階 中集会室 | | | | |
| 出席者 | 委員 | 9人(別紙のとおり) | | | | |
| | その他 | なし | | | | |
| | 事務局 | 9人(図書館長、相模大野図書館長、橋本図書館長、他6人) | | | | |
| 公開の可否 | | 可 | 不可 | 一部不可 | 傍聴者数 | 0人 |
| 公開不可・一部不可の場合は、その理由 | | 人選案件のため | | | | |
| 会議次第 | | <p>1 議 題</p> <p>(1) 平成30年度の予定について</p> <p>(2) 平成28年度図書館事業評価について</p> <p>(3) 淵野辺駅南口周辺公共施設再整備について</p> <p>2 その他</p> | | | | |

審 議 経 過

議題ごとに事務局等から資料に基づき説明をし、質疑応答を行った。その主な内容は次のとおり。(は委員の発言、 は事務局等の発言)

1 議 題

(1) 平成 3 0 年度の予定について

平成 3 0 年度の詳細な予算説明は来年度の本協議会において説明はあるのか。
来年度の本協議会で説明をする。

(2) 平成 2 8 年度図書館事業評価について

資料 1 - 3 は事業評価書の目次案だが、事業評価書自体の媒体と公表はどうするのか。

本協議会委員へは紙媒体のものを送付予定。市民への公表の形は現在検討中であるが、他課が実施している評価では、市ホームページ等のウェブでの公表が一般的であるため、その方向で検討している。

蔵書に関する指標の課題に「蔵書の量的充実とともに、質的充実の継続的な取組。」とあるが、質的充実に具体的な方向性があるのか。

一般的に図書館では質的評価に該当する蔵書評価というものがあり、蔵書を中心に見る方法と、蔵書の利用を中心に見る方法がある。その中でもいくつか評価方法があるため、何を評価したいのかを検討した上で、どういった手法にするのか、方向性を決めていきたい。

質的評価の方法は、現段階では明確ではないということか。

現状の評価方法では明確に反映できていないところである。次回評価の指標等を検討する際に方法について検討していく。

質的評価の具体的な手法の説明については次回以降説明があるのか。

次年度までの会議の中で、今回の課題も踏まえ検討するが、現行の評価については図書館基本計画に沿って組み立てているため、平成 3 1 年度までは現行の評価で行いたいと考えている。そのため具体的な手法については、次期基本計画に併せて検討する。

閉架書庫の資料も蔵書数に含まれているが、閉架書庫にある資料で一度も貸し出されたことのない資料があるのではないかと。来館者の目の届くところに置くのも質的充実になると考える。

閉架書庫への移動基準は、雑誌等の逐次刊行物の場合は年限で区切り、逐次刊行物以外の一般書は日々の配架作業や、利用頻度などで精査している。利用がない資料を見えるところに置くのではなく、利用が見込める資料を開架にすること

が質的充実になると考えている。

内部評価にある「大活字本等の積極的収集」について評価するが、購入する際、フォントのサイズを把握して購入しているのか。大活字文化普及協会が推進しているフォントの大きさは22ptのものだが、どこまで把握して購入しているのか。また、大活字本の購入、蔵書数について記載する際は、フォント数を明記し、実態がわかるような表記にしてもらいたい。

出版社によりフォントの大きさが異なるため、購入する際はフォントの大きさから選書するのではなく、利用者が読みたい作品を考慮しながら選書をしている。相模大野図書館では14ptと22ptの蔵書がある。黒に白字が読みやすいという声もあるため、白黒が反転している資料もある。

蔵書全体の管理については、質的充実の継続的な取組をしていただき、本日の意見も次の評価に活かしてもらいたい。

利用に関する指標で、子どもの貸出冊数がかなり減少し、目標値を達成できていないが、図書館だけではなく、学校の図書室の利用も減少している。小中学生に読書の重要性を伝えるには、教職員だけでなく、図書館職員が直接伝えることも必要ではないかと考えている。その上で図書館事業の周知を行えば、来館にも繋がるのではないかと考えている。

第二次相模原市子ども読書活動推進計画は学校と共に進める計画か。

図書館、家庭、学校、地域での取組み等、様々な場面で、それぞれが連携して推進していくこととしている。

貸出しの評価を目標数値で行うのは難しいのではないかと。子どもの貸出しについては、図書館の貸出数だけでなく、学校図書室の貸出し状況も含めて評価することにより、子どもの読書状況が評価できるのではないかと。学校との情報共有を密に行ってもらいたい。

利用促進への取組みは、図書館職員や教職員だけでなく、おはなしボランティアや地域の方とも連携していくことで、新たなアイデアが生まれるのではないかと。

子どもの貸出冊数の対象年齢を0～18歳としているが、貸出しを分析するには幅が広すぎるのではないかと。乳幼児、小学生、中高生等と細分化すれば、どの年齢層が減少、または増加しているのか、現状把握できるのではないかと。また、他市において学校司書を毎日配置した結果、学校図書室と図書館の貸出数が増加したという実績もあるので、子どもと本を結ぶ人が、子どもの近くにいることも大切である。

図書館へ行くには、距離的な問題もある。小学生は子どもたちだけで学区外にいけないので、保護者が行くための環境を作ることが大切であり、そのための働きかけは小学校でもしていかななくてはならない。

少子高齢化で絶対数の問題もあるため、増加させるのは容易ではないが、定性評価に次回以降反映してもらいたい。

今回の評価の中で「滞在型」という言葉があるが、例えば橋本図書館を滞在型にしてアピールする等の発想、方向性があるのか。

3館並列のため、館別に滞在型等の機能を設けることは検討していない。淵野辺駅南口周辺公共施設再整備の図書館部分の検討の中で、利用者から滞在型機能について意見があれば、検討していくが、現状で滞在型を打ち出しているということはない。

滞在型については、研究・検討を続けてもらいたい。

この指標からは、本市の図書館がどんなものを目指しているのか見えてこない。本市の図書館がどうあるべきか、全体像のビジョンを明確にし、そこからブレイクダウンをする形で指標を作成するべきではないか。また、来館者数を増やすには、今までやってきていないことをする必要があると思うが、ただ事業を増やすのではなく、今までやってきたことの効果測定をし、精査した上で新たな事業をやる必要があると考える。

地域に根ざした場所である公民館は、遠くまでいけない高齢者が集う場でもあり、滞在型とも言える。公民館図書室はそういった意味でも、もっと有効活用ができるのではないか。図書室にない本でも予約をすれば借りることはできるが、多くの方が借りたい本を決めてから来るのではなく、置いてある本の中から決めるので、予約をする機会は少ない。

公民館利用者へ本の情報を上手く周知し、本がその場になくても選べる環境を整えていくようお願いする。

資料1 - 1は(案)となっているがいつ(案)は取れるのか。

本日いただいた意見を基に、修正できる箇所を修正し、平成28年度評価シートとしたい。

(3) 淵野辺駅南口周辺公共施設再整備について

参考資料の中で、鹿沼公園の中にできる図書館は中央図書館となっているが、図書館3館の中で現在の市立図書館とは違う位置づけになるのか。

現在は3館並列になっているが、図書館基本計画の中では、市立図書館は中央図書館とする計画になっている。この計画に基づき、中央図書館として整備していく。

相模原の教育を考える市民の会から「市立図書館の建て替え・移転計画と「中央図書館構想」に関する要望」という要望書が送られてきたが、これは回答をするのか。

団体からは回答は不要と聞いている。本協議会では、中央図書館の運営方法や図書館の在り方について協議する場であるため、本計画が具体化したところで必要な事柄について協議していただきたい。

パブリックコメントは集計中ということだが、集計結果はどこかで確認できるのか。

現在図書館と都市計画課で受け付けたものを集計中であるが、結果については市ホームページで公開予定である。

この淵野辺駅南口周辺公共施設再整備については、今後本協議会のたびに状況説明があるのか。

逐次進捗状況を説明する。

【「2 その他」から非公開】

以 上

相模原市立図書館協議会委員出欠席名簿

| | 役 職 | 氏 名 | 所 属 等 | 出欠席 |
|----|-------|---------|-------------------------|-----|
| 1 | 会 長 | 鈴 木 良 雄 | 専門図書館協議会事務局 | 出 席 |
| 2 | 副 会 長 | 高 柳 眞木子 | みらい子育てネットさがみはら 連絡協議会 | 出 席 |
| 3 | 委 員 | 小 野 充 | 相模原市立中学校長会 | 出 席 |
| 4 | ” | 佐 藤 清 美 | 相模原市立小学校長会 | 出 席 |
| 5 | ” | 藤 嶋 直 司 | 相模原市公民館連絡協議会 | 出 席 |
| 6 | ” | 大 橋 千 景 | 相模原市社会教育委員会議 | 出 席 |
| 7 | ” | 古 田 政 子 | 子育て親育ち応援団 with.cfc | 欠 席 |
| 8 | ” | 村 上 賢 | 麻布大学 | 出 席 |
| 9 | ” | 齋 藤 祐 子 | 公募 | 出 席 |
| 10 | ” | 渡 邊 健 一 | 公募 | 出 席 |